

## 日本国総領事表彰状の授与式

平成28年3月10日  
在サンクトペテルブルク日本国総領事館



3月9日（水）、総領事公邸にてダンス「日本語・日本文化スタジオ『日本「あ」から「ヤー」まで』」代表への日本国総領事表彰状への授与式が開催されました。表彰を受けたダンス代表は、表彰は光栄であり、嬉しく思う、自身の活動を支えてくれている総領事、ツヴェトコヴァ露日友好協会事務局長、家族、また日本語のみならず日本を愛することを教えてくれた恩師であるバース・サンクトペテルブルク国立文化大学外国語言語学科長に改めて感謝する旨述べました。

### ソフィア・ダンシナ氏

レニングラード生まれ。1999年からサンクトペテルブルク国立文化芸術大学にて日本語・日本文化を学ぶ。2003年以降、文部科学省国費留学プログラムなどで2008年にわたるまで複数回留学・研究目的で日本に滞在。2002年から琴を学び始め、また留学中には生け花や着付けも学ぶ。

このように日本語・日本文化を深く学んだダンシナ氏は、2008年には日本の伝統楽器アンサンブル「サクラ」を率い当地日本文化紹介事業「日本の春」及び「日本の秋」フェスティバルなどで琴の演奏をはじめとした行事を実施するようになる。

また2008年から2011年にかけて日本センターに勤務、2010年から2011年には東洋大学にてビジネス日本語を教授する。その他2009年には「日本語・日本文化スタジオ『日本「あ」から「ヤー」まで』」を創設し、現在でも代表を務めるとともに、子供を中心に日本語や日本文化の授業を行っている。2014年からは日本の会員制クラブ「ヒッポファミリークラブ」と協力して、ホームステイや文化体験を目的とした人物交流も行っている。

上記のような日本語・日本文化の普及への貢献を認められ、ダンシナ氏は2014年に当地露日友好協会の副議長に選出され、2015年にはサンクトペテルブルク国際協力協会から名誉表彰を受けた。さらにダンシナ氏は文化・芸術の発展への貢献を讃えられ、2011年にサンクトペテルブルク市議会から感謝状を授与されている。